



エバーグリーンをお読みいただいている読者の皆様からのお便りをご紹介します…

◆(1)新年明けましておめでとうございます。久しぶりにお手紙いたします。さてさて、大それた大変でしたね～。床ふき、窓ふき、換気扇…。床ふきは今話題のシャーク(TVショッピング)を使ってみました。スチームの力ってすごいですね。汚れがおちるおちる…。！！換気扇はやっぱりオレンジクリーナーがオススメです。問題の



窓です(涙)。格子付きの勝手口のガラスは本当にいつも苦労します。棒にボロ布をまきつけて間に差し込んでゴシゴシ。うまくいきませんね。よいアイデアありませんか？【美山台 T様】

⇒う～ん、難しい質問ですねえ～。取り外して清掃が一番いいんですが面格子は防犯上設置しているものなので、そう簡単には外せません(取扱説明書を見ていただければ、できますが…)。簡単にやるとなれば、今流行の高圧洗浄機ですかね。購入にコストはかかりますが、これでサッシ周りのお掃除が楽になったという話はよく聞きます。是非、お試しを…。

◆(2)日生ニュータウンフォトコンテストの作品展に行き、たくさんの作品を見せていただきました。自分が住むよく知っている景色なのに、こんな美しい所だったのかと新鮮な気持ちで見入ってしまいました。普段、車でさっと通り過ぎてしまうからでしょうか？こんなに夕暮れ時がきれいだったのか？とかこんなかわいい子どもたちが住む町だったのかと気づかないことばかりでした。遠くに出かけなくても近くのこの町を楽しみながら歩くのもいいものだろうなと感じられた作品展示会でした。【美山台 Y様】



⇒住んでいる方々の美しい心、そして普遍なる美しい風景。2つの美しさがはっきりと写し出された、素

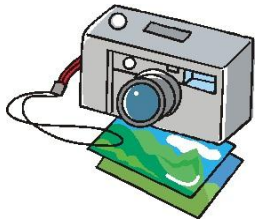
晴らしいフォトコンテストだったと思います。住民の皆さんを始め、多くの方々に支えられ今回も無事、開催することができました。これからも日生ニュータウンの伝統として続けていきたいですね。これからも美しい街日生ニュータウンライフをお楽しみください。

◆(3)東日本大震災の発生日(昨年3月11日)からもう丸10ヶ月を経過しましたが、被災地の状況は残念ながらほとんど元のままです。数十万人の被災された方々はそれぞれの避難場所に釘付のままでいつ戻るかわかりません。政府の音頭で設定された復興構想会議は現時点で一定の将来の復興構想をまとめましたが、これは居住地住民の一括高台移転を主としたものであり、実現の為に諸手続きや工事に約10年間を要するもので、地に足のついていない絵空事に過ぎない様に思われます。やはり先ず必要なのは、被災地の地盤を若干かさ上げする程度にして、早急に居住地を復興し、従来の産業(漁業や農業)を早急に復活させること、即ち生活基盤の整備が先決であり、将来の復興はその後でよいことと思われます。但し、このような復旧のあとで、大津波がきたら又同じような被災の繰り返しになるのでは？との疑問が残りますが、その対策は明快です。それは各人が常に救命胴衣を身近に準備しておくことで、溺死から免れることができます。また、500年か1000年に一度の大地震でたとえ住宅や工場等の建物が流されても人命さえ確保されたいことはないと考えるべきです。【伏見台 安孫子瑞生様】



⇒命より大切なものはありません。今回も為になるご意見をありがとうございました。そして地元の産業が早く復興するよう、我々もできる限りの努力を続けたいものです。今回の「復興支援・住宅エコポイント」は被災地産品や義援金及び募金等、「被災地支援」にポイントの半分以上を充当することが条件とされ、

早期復興に一役買うカタチとなりました。当社としても住宅産業を活性化されることによって、日本をもっともっと明るくしていきたいと思っています。



◆(4)いつもお世話になっております。第2回日生ニュータウンフォトコンテストすばらしかったですね。力作ぞろいで見ごたえのある内容でした。A4サイズなので誰でも簡単に

応募できるので良いと思います。それ以上のサイズになると自宅ではプリントが難しく、アマチュア写真家にとっては応募が出来ないし費用もかかりますね。先日、雪が沢山降っている中で、足場の悪いところで一生懸命写真を撮っている方がおられました。もう次のコンテストに出展するとか、脱帽です。そんな皆の熱意に支えられているのですね。【丸山台 K様】

⇒昨年以上に“熱い”コンテストになりましたね。K様もご応募本当にありがとうございました。写真のサイズは当初はすごく悩んだんですが、ご指摘の通り、A4サイズでよかったのではと思っています。展示会で写真が並んだ時にも程よく見やすいサイズでした。今後の開催に向けて、お気づきの点がありましたらどんどん助言をいただけたらと思います。皆さんと共に更に楽しいフォトコンテストにしていきたいです。

◆(5)私は今韓流にはまっています。と言っても「冬のソナタ」のドラマやヨン様に日本中のおばさま達が夢中になった時は全く興味がありませんでした。ところがヒョンな事から数年前に生まれてはじめて韓流ドラマに出会いました。そのタイトルは「チャングムの誓い」!!この作品にはまってしまい、何と5回連続で観てしまいました。もうセリフまで覚えてしまう程。それから歴史上の英雄を描いた韓流時代劇を数多く観ました。初めは戦いに勝ったり失敗したり恋をしたりの上辺だけで楽しんでいましたが、そのうち朝鮮王朝時代の歴史を勉強するようになりました。『日本の歴史もろくに知らないのに』と友人にバカにされますが、時代背景がわかるにつれて、セリフ一つ一つの重み、深みを感じられ、より好きになりました。今は「チャングムの誓い」の主人公チャングムを演じたイ・ヨンエさんが早くドラマに復帰する事を願っています。【美山台 Y・M様】



⇒私は逆に冬ソナ以来、韓国ドラマを全然見ていないような気がします…。何事もハマるのは良い事。また、夢中になっていることがあったらご報告下さい。ちなみに私は少女時代とAKBにハマってます…。

◆(6)『一年の計は、元旦に有り』『あけましておめでとうございます』昨年は、東北大震災を始め、ユーロ債権不安で円高、アラブの春の政治改革など、沢山の出来事が有りました。今年は、穏やかな、平和な年に成ってほしいものですね。さて「一年の計は、元旦に有り」と申しますが、皆さんも、色々と計画を立てられている事と思います。新星和不動産さんも、年間予定の中に、今年も「第3回・我が街フォトコンテスト」を、企画されていると思います。この素晴らしい街を、ただ、漠然と残して行くだけでは無く、何かテーマを持って、その情景を残してはどうでしょうか？例えば、フォトコンテストを「春の部」「夏の部」「秋の部」「冬の部」と言うように、季節でニュータウンの素晴らしさを残して行くのは、如何でしょうか？勿論、「絆」や「街」や「人」等のキーワードで残して行くのも素晴らしいと思いますが…。日本には素晴らしい「四季」が有ります。この表情豊かな四季を、散歩の途中、気軽にカメラに収め、「我が街の情景」として、何時までも残して行かれてはどうでしょうか？それは、新星和不動産さんが「街造りを歩んだ歴史」にも成ると思います。その為には、この冬の季節から、心の準備が必要かと思ひます。新星和不動産さんには、今年もお世話に成りますが、住民と一体の街造りを、是非、継続・発展させて頂きたいと祈念しています。【丸山台 Y様】



我が街・冬の部「もっこりカリヨン」
撮影:釜の尾公園にて・2012年1月5日

⇒フォトコンテストには皆さんの温かい声をいっぱいいただき、主催者として本当に感謝申し上げます。Y様のおっしゃる通り、次は3回目だから、更なる工夫が必要ですね。是非、参考にさせていただきます。先日、私のマイデジカメがぶっ壊れました。常にシャッターチャンスを見逃さない為、コンパクトで高性能なヤツを買おうと思っています。後はサイフとワイフとの相談ですね…



今回は**6通**のお便りを頂戴し、掲載させていただきました。
多数のお便り、本当にありがとうございました。

※コメントは**高橋**が担当いたしました。